会報 絆（きずな）

発　行　公益社団法人
武蔵野市シルバー人材センター
編　集　広報編集委員会
武蔵野市西久保1-6-27
多摩信用金庫武蔵野支店4 階
電話　0422-55-1231 ㈹
ＵＲＬ　https://www.musashino-sc.or.jp/

227（夏）号　もくじ

◆令和５年度定時社員総会 …… 1
◆新体制スタート …… 2
◆SC　NOW（1） …… 3
◆SC　NOW（2） …… 4
◆突撃レポート　現場へ GO ！ …… 5
◆私のふるさと …… 6
◆リレー・エッセイ / 私のチャレンジ教室 …… 7
◆ひろば / 新入会員紹介 / 編集後記 …… 8

令和5年度　定時総会を開催

令和5年度の定時社員総会が6月14日㈬武蔵野公会堂1階ホールで開催されました。新型コロナウイルス感染症が分類上見直しになりましたが、引き続き感染防止対策を講じた上での総会開催となりました。

挨拶される松下市長

13時30分事務局岩田主任の司会により始まり、安達勝会長の挨拶の後、武蔵野市長松下玲子様、市議会副議長ひがしまり子様、武蔵野市老人クラブ連合会副会長斉藤耕三様よりご祝辞を頂きました。

次に会員表彰が行われ、20年在籍表彰対象者16名（代表者日野廣見会員）、10年在籍表彰対象者45名（代表者入江崇宏会員）、東京しごと財団表彰金子良子会員に表彰状と記念品が授与されました。

その後、定時社員総会に移りました。議題に入る前に安達会長より出席者数の確認をし、本定時社員総会の有効会員数1,055名に対し出席者81名、委任状と議決権行使書提出会員614名の合計695名となり、令和5年度定時社員総会は有効に成立しているとの報告がなされました。

その後安達会長から議長選出の要請があり、議長に境南地区の高木攻会員が選出され議題審議に入りました。

■報告事項

1. 監査報告:中野監事から「適正に処理されている」旨の報告
2. 令和4年度事業報告：中村事務局長から議案書該当部分に沿っての報告

■決議事項

1. 令和4年度計算書類等の承認の件
2. 理事4名（再任2名、新任2名）選任の件
3. 監事2名（再任2名）選任の件

いずれも中村事務局長から説明がなされ質疑応答を経て承認可決されました。

議長退任の挨拶の後、小野副会長より閉会の辞が述べられました。

以上で令和5年度の定時社員総会の幕を閉じました。

閉幕後に臨時理事会が行われ、会長に安達勝理事・副会長に小野千鶴子理事が再任され、安達新会長より挨拶がありました。

続いて退任役員、加藤伴子会員（7期在任）篠原尉浩会員（2期在任）が表彰され、代表として加藤伴子会員が挨拶をされ表彰状と記念品が授与されました。

新体制になり挨拶される新任役員の方々

よろしくお願いします　新任役員・理事のみなさん

会長
安達　勝

このたび、6月の臨時理事会において、引き続き、会長を務めることになりました。コロナ感染状況も落ち着いてきましたので、今年度は会員皆様のコミュニケーションを促進すべく、その機会を提供する予定です。又、今期の重点テーマとなっております「地区活動の強化」について、各地区での具体的な活動をお願い致します。会員の平均年齢は年々上昇しており、現在75.5歳であります。今年度より、80歳以上の会員の就業意欲促進のため、対応する職種の発掘や現状職種の更なるワークシェアの検討など、財団や他センターと連絡を取り、進めていきたいと考えております。今後共よろしくお願い致します。

副会長
小野　千鶴子

武蔵野シルバー人材センター入会のきっかけは、20年前病気になった主人の代わりに入会させて頂き封入作業、市報配布等の仕事を通じてお友達の輪も広がり楽しんでおります。

このたび再度副会長として承認を頂きました。引き続き会員の皆様のご協力宜しくお願い致します。ここ数年コロナ禍で制限されておりました会員の皆様との交流、新入会の方との就業相談会などを通じて、今年度の目標である会員増強、地区の活性化へ微力ですが会長、理事の方々と一緒に魅力あるシルバー人材センターを目指して行きたいと思います。

新理事
内山　光男

このたび第5ブロック（桜堤・関前）の理事に推薦いただき、就任することになりました内山光男です。現在、桜堤地区長と中学校で、施設管理に就業させていただいております。

私は、令和元年6月から令和3年6月まで、1期2年理事を務めさせていただきました。当時先輩理事から指導をいただき、コロナ禍で行動制限あるなかいろいろ経験をさせていただきました。新たに理事としてその経験と反省を生かし武蔵野シルバー人材センターの役に立つよう微力ながら努めてまいります。よろしくお願いいたします。

新理事
吉澤　信彦

この度第一ブロック（東町、南町地区）の理事に、ご推挙いただきました吉澤信彦です。現在小学校の施設管理と研修委員の仕事をしております。高齢化が進む社会の中で、少しでも地域の役に立つ事をしたいと思いシルバー人材センターに入会しました。

そんな中での理事就任です。当センターの発展が、地域の発展に繋がると思ったことが、微力ながら理事職を引き受けた動機です。

高齢化社会の中でのシルバー人材センターの役割は、さらに重要な存在になっていく事と思います。それには、会員一人ひとりが楽しく元気に就業、社会参加が出来るようお手伝いをさせて頂きたく思います。

よろしくお願いいたします。

お疲れ様でした　退任理事のみなさん

八幡町
加藤　伴子

2006年5月に入会し、16年になりました。この間理事就任は、社団法人で2期、公益社団法人になって5期、合わせて7期になっていました。

4名の会長、7名の局長と出会い、思い出が沢山あります。今日まで、ご支援くださいました方々、時には苦言を呈して下さった方、

長い間、ありがとうございました。

吉祥寺東町
篠原　尉浩

2期4年を務めさせて頂きました篠原尉浩です。

在任中に現職会長の加藤之義氏急逝という大事件が起こりました。氏が打ち立てた数々のSC改革案がスタートしたばかりの時です。

私は総務企画委員長として事務局改革を命じられましたが、その後の担当替えで、心残りですが現体制には引き継がれておりません。

結果として、「会員心得十か条」と「就業心得十か条」策定が、形として唯一残ったものと言えます。

どうもありがとうございました。

SC NOW (1) 終わりがあれば始まりもある　変化を続ける武蔵野SC

コロナ禍の児童・生徒を守った「学校消毒班」、令和5年3月で業務委託終了

令和2年からの新型コロナウィルス感染拡大を受け、武蔵野市から委託された小中学校の消毒業務が、令和5年3月末をもって無事終了となりました。

令和2年6月に教育委員会から依頼があった就業開始当初は、学校施設管理員が消毒業務を併せて実施していました。しかし、本格的な消毒体制が求められる中、消毒業務を別途実施するため、会員の皆さまに就業をお願いしたところ、コロナの感染原因もまだ明らかではない状況下、かつ急なお願いにもかかわらず、80名近くもの会員が消毒班にご加入くださいました。まさに会員の「地元の児童・生徒を守る」という気概の表れであり、武蔵野市シルバー人材センターの結束力が存分に発揮された就業でした。

今年3月に業務委託が終了する際は、当センターへ教育委員会や各学校から多大な感謝の言葉が寄せられました。

学校消毒就業終了に寄せて

消毒業務従事会員代表　加藤伴子

令和2年8月、私が消毒業務に入ったのは大野田小学校です。5階建ての大規模校で1日3時間、約7,000歩も動き、体が慣れるまで大変でしたが、施設管理の方々からもサポート受け、学校の先生方からも感謝の言葉を頂き、いつの間に学校での消毒作業が楽しみに変わっていきました。消毒業務に携わった皆様も色々な思い出があると思います。

当センターが行った学校施設消毒は新型コロナウィルスの感染防止に多大な貢献を果たしました。これもひとえにご協力頂いた会員の皆様のおかげです。本当にお疲れ様でした。

コーラスグループ「福寿草」活動再開！

会員有志によるコーラスグループ「福寿草」は、平成10年12月に発足し、介護施設への訪問、コミセン文化祭への参加等、定期的に合唱によるボランティア活動を続けてきました。外部の講師を招き、ピアノ演奏により「夏の思い出」、「うみ」、「おおシャンゼリゼ」などの国内外で親しまれている曲を和やかな雰囲気で歌っています。

コロナ禍により、残念ながら令和2年12月より活動を休止していましたが、このたび、5月より練習を再開いたしました。

会員であればどなたでも参加できますので、ご興味のある方は一度見学に来てみませんか。お問い合わせは下記までご連絡ください。

福寿草のメンバー一同

練習再開の挨拶をする近藤リーダー

練習日時：隔週火曜日（月2回）午後2時
練習会場：武蔵野市民文化会館
会　　費：毎月1,500円
メンバー：13人（女性8人･男性5人）
お問合せ：杉原鉄夫（すぎはらてつお）
TEL　090－2675－9391

除草1～4班、ワンチームで初の共同作業

センターに寄せられるご家庭等からの除草依頼は年間約1,000件に及び、中には大きな邸宅や集合住宅など、作業時間が延べ100時間を超える現場もあります。

現在、センターでは除草を4つの班に分かれて作業していますが、このような大規模の現場を1つの班だけで実施するには体力的・精神的にも厳しく、中にはお断りせざるを得なかったこともありました。

今回、都営アパートから大規模な除草依頼があり、受注が危ぶまれましたが、各班のリーダーが「同じ会員同士なのだから、協力をすればきっとできる方法があるのでは」と奮起し、合同での作業を検討することになりました。会員同士で熟議をし、一つ一つ課題をクリアし、その結果、除草4班がワンチームとなって作業を行うことができました。班員の士気も上がり、なんと作業時間も前回より短縮することができ、また作業を通じて会員同士の絆もいっそう深まりました。

作業後には依頼された方から「こんなに短時間で草取りが終わるなんて信じられない!」とお褒めの言葉もいただきました。

班毎に担当場所を決めて作業中

作業を終えてほっとする除草班

SC NOW (2)

みなさんの安全が全てに優先します

安全管理委員会

シルバー人材センター会員の皆さまが安全に業務を行えるように活動をされている安全管理委員会の会議におじゃましてお話を伺いました。

――安全管理委員会はどのような活動をしているのでしょうか？

会員の皆さんがいつも安全に就業できるよう、各就業班からメンバーが委員となり、問題となるような事項があれば報告し、改善方法について話し合っています。基本理念は「東京都シルバー人材センター連合の安全宣言」に基づいています。

事故案件が発生した場合には、センターに一報が入り次第、速やかに事故処理を行いますが、再発防止のため、委員会から各班長などを通じて会員皆さまに注意喚起できるよう活動しています。事故については傷病・賠償どちらについても対処します。

――具体的にはどのような活動をしていますか？

年間計画に基づき活動をしています。定例の委員会の開催のほか、安全パトロールを実施しています。事故事例の多い就業班には、安全巡回の実施を通して作業状況の確認を行っています。また、東京しごと財団の実施する安全に関する講習を受講するなど、高齢者に起こりがちなトラブルへの対処方法の情報収集を行い、会員の皆さんに共有できるようにしています。

――コロナ禍にあって今までと就業等活動内容が違っていたことはありましたか？

会員がコロナに罹患され就業できないケースのみならず、就業先からコロナに関しての対策を求められる例も多くありました。そのような状況下でも、安全に就業が継続できるよう、会員の皆さんには感染防止対策を講じていただきました。

――『安全宣言』とはどういったものでしょうか？

以下のとおりです。

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全は全てに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

一）危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
一）事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
一）事故の情報を分析し再発防止を徹底する

――今後はどのように活動をしていく予定でしょうか？

もうお手元に届いていると思いますが、会員の皆さま宛に「会員必携　安全就業ハンドブック」をお配りしています。どの就業においても安全に就業していただくための心得や、各仕事ごとの安全対策、事前チェック事項などを掲載していますので、ぜひご一読いただき、就業の際にはできるだけ携帯し、内容を確認していただけるようお願いします。
各作業別安全就業基準も現在更新中ですので、追ってこちらもご案内いたします。

また、幸い現在まで武蔵野市のセンターでは重篤な事故の報告はありませんが、就業に赴く際や帰宅時も含めて、何か起こった際には些細な事故でも必ず事務局にご連絡いただくようお願いします。

これから夏場に入り、熱中症なども起きやすくなってきますので、皆さま十分お気をつけて仕事に就いてください。

突撃レポート 現場へGO!

―私の就業体験記 パソコン教室の巻―

武蔵野市シルバー人材センターの事業の一つにパソコン教室があります。2005年に発足以来、急速に進むIT化時代に即応した教室として頼りにされています。現在はスマホ普及の時代ともあって、スマホ使用上の相談も多く、教室はそれにも対応しています。現在7人の講師がおりますが代表して3人の方々にインタビューしました。

金子隆司さん
（吉祥寺南町）

新倉浩治さん
（桜堤）

堀井まやさん
（西久保）

○全体の様子…リーダーの金子さんが語ってくれました。

・講師は男性4名、女性3名の7名で運営。経験年数も様々でバランスの良い講師陣です。
・センターの移転前は広い会場を使う講習会を実施していましたが、現在は1対1の個別指導が中心です。毎月の無料相談コーナーもあります。
・毎週オンライン会議で、講師相互と事務局との情報を共有し、親睦も図っています。

○各項目に沿ってのインタビューです。

――活動を始められたキッカケ、動機についてお聞かせください。

金子さん　趣味のパソコンを生かしたいと希望。好きなものを教えることが、嬉しいと思いました。

新倉さん　パソコン、スマホ、タブレット等の使い方が解らず困っている人が周りにいたので。

堀井さん　現役時代は企業のIT部門に所属。経験や嗜好を生かせればと思いエントリー。

――活動の様子、大変な事、苦労されている事、気を付けている事、などお聞かせください。

金子さん　センターの移転前は広い教室があったので講習会を中心に活動しましたが、現在は個別指導と訪問指導で活動しています。

新倉さん　購入後のセットアップもしました。検索、再生、停止、音量調節等ユーチューブの使い方もやりました。

堀井さん　受講者さんと1対1でリラックスして臨むのは楽しく充実したものです。地域のシニアの皆さんと触れ合う機会は貴重なので、生活の中のお話などもしながらスキルアップをお手伝いしています。

――大変な事や苦労されていることをお聞かせください

金子さん　講習会ではテーマを決めて臨めたのですが、個別指導では依頼者に応えるので範囲が多岐に渡り事前準備が大変。予想外に展開することもありその対応は勉強になります。

新倉さん　この世界は日進月歩なので常に勉強が必要な事です。

堀井さん　たまにマニアックというかコアな方がみえると、こちらの知識では追いつけず苦労しますし落ち込みます。メモ書きに頼る人も多く、「実践して体感して習得」といかず、それがつらいところですね。

――この仕事で気を付けていることはどんなことでしょうか

金子さん　この分野はスマホも含め常に進歩していて、技術はもちろん依頼内容も変わるので、対応できるように気をつけています。また、納得してもらえるように、わかり易い説明と実際の操作に心がけています。

新倉さん　受講者が理解できるように説明できているだろうか、といつも内省していることです。また、専門用語はできるだけ使用しないように心がけています。

堀井さん　できなくても穏やかに、やさしく。根を詰めずに楽しむように。と心がけています。

――嬉しいことややりがいは？

金子さん　「悩みが解決した」、「そこが知りたかったのですよ」のような言葉を頂けた時は、“やってよかった”とやりがいを感じます。講師になって、「知っていること」と「教えること」とは全く異なるものだとわかりました。

新倉さん　面と向かって教えていることはとても楽しい。何といっても、受講者が説明内容を理解してくれた時は嬉しいですね。

堀井さん　デジタル化が進む世の中で、高齢者を置いてきぼりにしないようにと、新しいITツールになじんでもらうことに少しでもお手伝いできれば幸いです。

後記

ありがとうございました。教える立場に立って、受講者に寄り添い、「わかってもらえた時が楽しく、嬉しい」旨の気持ちを異口同音に吐露された皆さんにすがすがしい人となりを感じて嬉しくなりました。IT化時代の進展に応えるこのような素敵な社会貢献活動がシルバー人材センターにあることを誇らしく思います。

【概要】

仕事の内容	パソコン・スマートフォンの操作指導（センターでの個別指導・依頼者宅での訪問指導）
仕事の場所	事務局及び依頼者宅
仕事の時間	1～1時間30分
就業の人数	7人
配　分　金	概ね1,800～2,000円／1回あたり
事務局担当	中井
その他	月1回センターにてパソコン・スマートフォンの無料相談会を実施

私のふるさと　第33回

── 井の頭恩賜公園周辺 ──

御殿山
遠藤　真郷 会員

今回は井の頭恩賜公園（以下井の頭公園と略）から吉祥寺近辺で子供時代を過ごした方にはとても懐かしいお話を、弊誌編集委員でもある遠藤さんに伺いました。

どんな子供時代でしたか

遠藤：昭和30年12月、1歳5カ月で福島県二本松市から当時の三鷹市牟礼（現在の三鷹市井の頭）に引っ越してきました。昭和42年の町名改正で井の頭2丁目になる場所で育ちました。近所の保育園そして三鷹市立の小学校、中学校（いずれも井の頭公園に一番近い三鷹の学校です）に通いました。まだ小さかった頃は、三鷹台駅近くの井の頭線沿いや当時の三鷹台団地のそばなどは田んぼがあったことが記憶としてあります。また小学校時代は担任の先生から、夏休みの前の注意として玉川上水には近づかないこと、それは玉川上水の水量が現在とは段違いで水難事故が多くあったからでした。また冬休みの前になると井の頭公園の池が凍結するため氷の上には絶対に乗らないとようにと言われました。つまり凍っても氷が薄かったんですね、でも今は氷もはりません。このような環境で子供時代を過ごしました。

大好きな井の頭線下りにて
カラーパネル･ステンレスカーの
3000系前にて
昭和39年頃　本人

少年時代の過ごし方はどうでしたか

遠藤：やはり歩いて6～7分で井の頭公園に行けるものですから、子供時代の遊びの中心は井の頭公園でした。現在の神田川水門と位置されている丸い石の橋のところで近所の魚屋さんから貰ったイカのげそで、マッカチンといわれるザリガニを釣ったり、少し広い場所で野球の真似事をしたり、公園内のお茶屋さんの同級生の息子とウシガエルを捕まえたりと毎日を過ごしていました。特に今は入れなくなりましたが、われわれがひょうたん池と呼んでいた神田川水門のすぐ近くにある小さな池が現在もあります。ここで池に入り吉祥寺のハモニカ横丁の“歌川模型店”で買ってもらった木製のモーター付きの模型のモーターボートやプラモデルの“サブマリン707”を池に放って遊ぶのが最高に楽しかった思い出です。

ザリガニ採りをした
井の頭池外れの水門

もう一つが今も続いています吉祥寺というフィールドです。子供時代は母に連れられての買い物でした。ハモニカ横丁にあった魚屋･八百屋、胸がわくわくした名店会館、特別な日の駅前の不二家などまだ現在のサンロードにバスが通っていた時代です。そして私の憧れの場所、上述の歌川模型店です。鉄道模型、プラモデル、レーシングカーと狭い店内は魅力満載でした。

それからはどのように

遠藤：　高校時代になると音楽にかぶれフォークのぐわらん堂、ジャズのファンキー、ロックのビーバップに入り浸っていました。それから映画にもはまり、今はもうない名画座の「吉祥寺オデオン座」「吉祥寺スカラ座」でずいぶん映画を観ました。

それから少し時間が経ち、井の頭公園を全国レベルにしたのはＮＴＶ系列ドラマ「俺たちの旅」でした。井の頭公園を中心に吉祥寺の街中などでよくロケーションをしており、たびたび見かけドラマの内容にも同感し、影響を受けました。子供時代、青春時代のほとんどを井の頭公園近辺、吉祥寺界隈で過ごし、町が私を育ててくれたと言っても過言ではありません。今もまたこれからもこの町といっしょに生きて行きます。

水道道路（現井の頭通り）を行く
Honda S800を撮る
昭和40年代前半のスポーツカーの
大ファンでした

＃歌川模型店　ハモニカ横丁に店舗を構えていた模型店。2004年に閉店。吉祥寺本町4丁目に移転し営業していたが2018年に閉店した。特に鉄道模型の愛好家からは聖地として有名。

リレーエッセイ

アンサンブル

吉祥寺東町　吉川　正紀

私は、サックスフォーンの演奏を趣味としており楽器店が経営する音楽教室でレッスンを受けています。サックスフォーンは高音域から順にソプラニーノ・ソプラノ・アルト・テナー・バリトン・バス・コントラバスがありますが、主にはソプラノ・アルト・テナー・バリトンが使用されています。

私は、当初個人クラスでしたが、現在はアンサンブルクラスにいます。アンサンブルとは複数の人数での演奏（＝合奏）を意味します。私の参加しているクラスは、4種類の音域を5人で分け持っています。

一般に、個人演奏の場合は、全てが自分の責任に成りますが、多少ずれても「それが意図的な演奏」として受け取られる場合もあり「気分的に楽」と捉える人もいます。一方アンサンブル演奏の場合は、経験の浅い人でも少しのずれを聴き分ける事が出来るので、合奏メンバーの合わせが非常に重要に成ります。

個人演奏では容易な曲としていたものも、合奏形式に展開すると非常に困難な曲に変身します。ひとつの曲を完成させるのに3か月程度掛ります。

苦労の連続ですが、ある程度のレベルに仕上がった時の気分は非常に替え難いものです。現在は7月開催予定の発表会に向けて練習に励んでいます。

私のチャレンジ教室

吉祥寺東町　友成　穂秀

齢70歳で定年退職を機に、現在の武蔵野市シルバー人材センター（以降MSC）主催の会員募集の説明会に出席して会員登録をいたしました。その切り替えは電光石火でした。

そして、市報戸別配布、次いでふれあい訪問ごみ収集のお仕事を割り当てていただき、いずれのお仕事も今日まで続いています。5月末現在で市報277部、ごみ収集1軒です。

定年までのキャリアで体験してきた実績とは全く違うMSCからの上記ふたつのお仕事から得られる恩恵を比べると、今日のそれが優るとも劣らないと実感しています。

例えば、朝起きてごみ収集に約50分の健脚を活用し、お仕事のエリア内に咲く四季折々のお花を垣間見て楽しめること、好きな本やワインを買うお小遣いをいただけること等のメリットは、人生100年時代に於いて齢86の私に最適な居場所を提供してくれています。これからもMSCの原点・理念である、健康で働く意欲のある高齢者の健康維持、生きがいづくり、そして社会貢献を支える組織…を謳っていきます。

会員として惰性に陥ることなく、許される限り、90歳を過ぎても誇りを胸に会員として留まり続けるようにチャレンジ中です！

住みたい街武蔵野市は、市政とMSCと会員の三つのシナジー効果の賜物と信じています。このノウハウを磨き新会員へ繋いで行こう、皆で！

手芸小物班　12回目の雑巾寄贈式

3月3日、武蔵野市役所にて、当センターから市立小学校へ1,200枚の雑巾が寄贈されました。地域と児童への貢献を目的に平成23年度より雑巾寄贈活動をはじめ、今回で12回目を迎えます。

会員から寄付されたタオルを手芸小物班が雑巾に仕立て、安達会長から学校を代表する教育委員会教育長へお渡ししました。

東京マラソン祭りボランティア参加

3月5日、東京マラソン祭りが開催され、当センター会員がボランティアとして参加しました。

このお祭りは東京都主催のもと、東京マラソンのコース沿道において、演舞や音楽などのイベントを実施するもの。当日は7名の会員が日本橋浜町沿道の観客整理・案内を行いました。参加者からはまた是非参加したいとの声がありました。

編　集　後　記

今たいへん話題になっているチャットGPTを使ってみました。

「編集後記の書き方を教えてください」と入力すると、わずか数秒で具体的な文言が表示されました。細かな注釈がついていましたが、字数の制限がありますので大まかなポイントだけをチャットGPTに即して記載いたします。以下のとおりです。

『1. 目的を明確にする　2. 著者の立場を示す　3. 読者に感謝の気持ちを示す　4. 記事や書籍の裏話を伝える　5. 結びの言葉を残す　編集後記は、著者の思いを読者に伝えるための貴重な機会です。
上記のガイドラインを参考にしながら、自分自身のスタイルに合わせて、編集後記を書いてみてください。』

というアドバイスをもらいました。皆さんも優れた生成AI機能ですので一度試されてはいかがでしょうか。　M.E.